どうしてか分からないときは、不安で仕方がありませんが、そうなのだ、と納得できれば、見方や感じ方が変わるのではないでしょうか。知ることで得られるものがたくさんあります。

自分の時間ほしくないかと問われれば　自分の時間をこの子と過ごす〈俵　万智〉

「……自分は、自分の時間のつかいみちとして、子どもと過ごすことを、この人生で選んでいる。しかもそれは無限に続くものではなく、「たんぽぽの日々」なのだ。そんなふうに発想を変えるようにした時から、ずいぶん楽になったような気がする。……」

今、幼稚園は多くの駐車スペースが求められるようになりました。実際に幼稚園の送り迎えをする保護者の多くが自動車になったからです。慌ただしい時間の中で、親も子も生活しているのです。

でもよく考えてみると、そこには子どもの都合は存在しないのです。通院する日であったり、習い事に行く日だったりすることはあるでしょうが、基本的には親の都合であるはずです。

せっかくの子育ての時間です。じっくりと子どもと向き合い、子どもとともにゆったりした時間を持つ。そうすることが、子どもだけではなく、親にとっても今までと違う貴重な時間になるはずです。帰りは、手をつないで歩きながら、子どもとの語り合いの時間を手に入れる。送り迎えは、時間の無駄ではなく、実は、子どもとつながる大事な時間なのだと、気持ちを切り替えるだけで、まったく違う景色が見えてくるのではないでしょうか。

平成29年3月31日　　湖西市教育委員会　教育長　山　下　宗　茂

子育て応援読本

目　次

◆子育ての基礎・学びの基礎「7つの取り組み」…… 1～8

【家庭】

・「子育てすこやかチェック」をしましょう（乳幼児）

・「親と子の健やかチェック」をしましょう（小・中学生）

●人間には「育つ順番」がある …… 11
●親のかかわり …… 12
●キーワードは、家族の「コミュニケーション」 …… 13
●親にも子どもにも必要な3つの「間（ま）」 …… 14
●子どもの“いま”と向き合う …… 15
●子どもが、愛されていると実感する …… 16
●子どもを育てる …… 17～18

【知育】

●ことばは“心の窓” …… 20
●会話はことばのキャッチボール …… 21
●聴く力 …… 22

【体育】

●急速に発達する神経回路 …… 24
●動く・歩く・遊ぶ …… 25
●汗をかく …… 26

【徳育】

●子どもの「機能の喜び」 …… 28
●「聡明」ということば …… 29
●自分で考え自分で行動できる …… 30

【経験】

●「短所」を「長所」に …… 32
●「しない」より「する」の言葉かけを …… 33
●子どもの成長 …… 34

【生活】

●睡眠は人間にとって大切な行為 …… 36～37
●生活リズムを整えるためのポイント …… 38
●基本的生活習慣とは？ …… 39～40

【食育】

●楽しく食べる …… 42
●食事の基本 …… 43
●子どものおやつは補食の時間 …… 44

【環境】

●テレビやゲームに囲まれた子どもたち …… 46
●異なる刺激の性質 …… 47
●スマホで子どもをあやさないで …… 48
●親は子どもの手本 …… 49

【知識】

●脳を育てる …… 50～52

◆相談したい …… 53～54

子育ての基礎・学びの基礎「７つの取り組み」

湖西市では、平成18年度から、小・中学校で「学びの基礎づくり」をテーマに学力向上に向けた「７つの取り組み」を始めました。

「学びの基礎づくり」は、家庭教育や社会教育の分野である生活の基盤づくりに関わる７項目を策定し、「生活習慣を整える」ことを重点に、学校と家庭・地域が協力して取り組んできました。

そして、幼・小・中の連携を重視し、市立幼稚園においても、同様の取り組みを家庭にお願いしてきました。

平成26年度、子育て真最中の保護者を支援したいと考え、「すくすく子育てママ応援読本」を作成し、子育て中の保護者に配布しました。

その作成の過程で、『学びの基礎「７つの取り組み」』についても見直しを図り、子どもの成長に合わせて、幼児から小学生、中学生へと取り組む内容を新たに設定しました。

平成28年度から、幼児については、タイトルを『子育ての基礎「７つの取り組み」』としてクリアファイルを作成し、公私立を問わず、市内の幼児全員に配布することにしました。

また、『学びの基礎「７つの取り組み」』についても、小学生版、中学生版のクリアファイルを作成し、配布します。

「すくすく子育て　ママ応援読本」の続編も作成します。

子どもの成長の基礎となる生活習慣を整えるために、家庭での取り組みをお願いします。